



「子どもの成長を通して、
自身の成長を実感」

私は今、育児を楽しみながら、かねてから取り組み
たかった仕事を任せてもらえています。「育児をする
から仕事は諦める」「仕事をしたいから育児は諦める」
のではなく、両方を頑張ることができています。

子どもが生まれてからは、家庭での時間を確保する
ために、これまでの働き方を見直し、業務を効率的に
進めることができるように意識しています。特に、ス
ケジュールや業務改善を意識して働けるようにな
りました。

家庭では妻と家事・育児をバランスよく分担するこ
とで、夫婦ともに自分の時間を持つことができるよう
、子どもの成長や職場の人事異動などで生活様式が変化
するタイミングごとに妻と家族会議を開き、それぞれ
の役割を見直しています。

岡崎市には仕事と育児の両立をサポートする制度や
研修、上司の理解が十分に整っているため、私も職場
の方々に日々助けていただきながら、両立することが
できています。これからは、同僚や部下が育児などで
困った時に相談に乗ることができる存在になりたいで
すし、こうした男性職員のネットワーク作りも進めて
いきたいと考えています。



こども部
こども育成課

榊原 崇史
(事務職・平成19年度採用)